

	<p align="center">～障害者が安心して地域で暮らし続けられるまちに～ 障害者施設と農業者・事業所の協働により 農福連携がさらに加速</p>
<p>と き</p>	<p>令和3年8月19日から</p>
<p>19日（木）から、知的障害者が通う区内の福祉作業所が加工する、区内産のアスパラガスの茎を利用したほうじ茶の販売がはじまった。この取組は、区内の福祉作業所と農業者、事業者による農福連携で実現したもの。</p> <p>「かたくり福祉作業所」では、近接する白石農園との連携により、商品として発送するアスパラガスの選別などの加工を行っている。</p> <p>（株）REDDは、加工の際に廃棄されていたアスパラの茎に着目、茎を利用したほうじ茶を開発し、商品化することとした。</p> <p>また、農福連携をさらに広げるため、社会福祉法人「あかねの会」と連携し、茶の製造過程に必要な茎の乾燥や焙煎、袋詰め工程を担ってもらうこととした。</p> <p>福祉作業所利用者の工賃向上につながる、農福連携事業の広がりについて、区の担当者は「障害がある方の活躍する場を広げる取組。今後も地域との連携を深めていきたい。」とその意義を述べた。</p>	



▲商品化されたほうじ茶
「翠茎茶(すいけいちや)」

【農福連携とは】

農業者と、社会福祉法人やNPO法人などの福祉団体が連携して、障害者や高齢者らの農業分野での就労や生産活動等を支援する取組。担い手の高齢化が進む農業分野と、障害者や高齢者らの働く場と生きがいの場の確保を求める福祉分野の連携は注目されており、今後一層の推進を図っていく。

【農業者について】

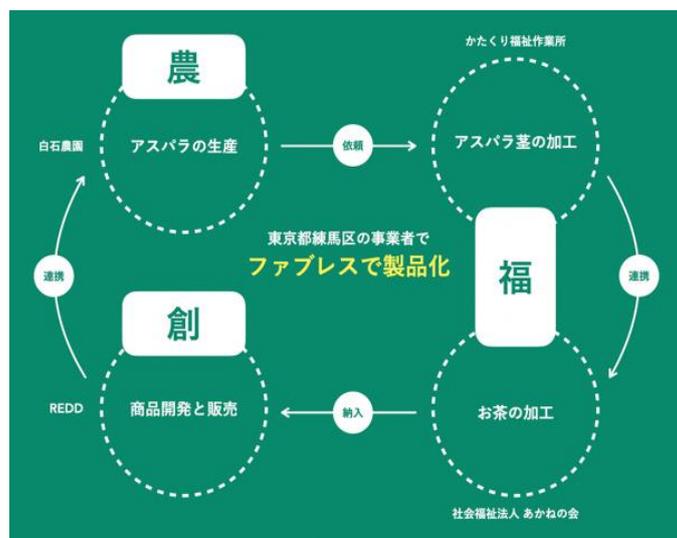
白石農園（大泉1-54） <https://shiraishi-farm.com/>
江戸時代から続く農業者。ハウス栽培により、アスパラガスを最盛期には1日50kg以上収穫する。

【福祉作業所等について】

- ①区立かたくり福祉作業所
アスパラガスの選別・梱包・発送作業、茎の回収を担う。
- ②社会福祉法人あかねの会
2か所の福祉作業所で、アスパラガス茎の乾燥・焙煎、アスパラガスほうじ茶のパック詰めを担う。

【アスパラガスの茎を使ったほうじ茶について】

株式会社REDD（石神井台4-1-4-403 代表 望月 重太郎）
商品の販売は、<https://redd.jp/suikeicha>



▲今回の農福連携の枠組み
(株)REDD 提供